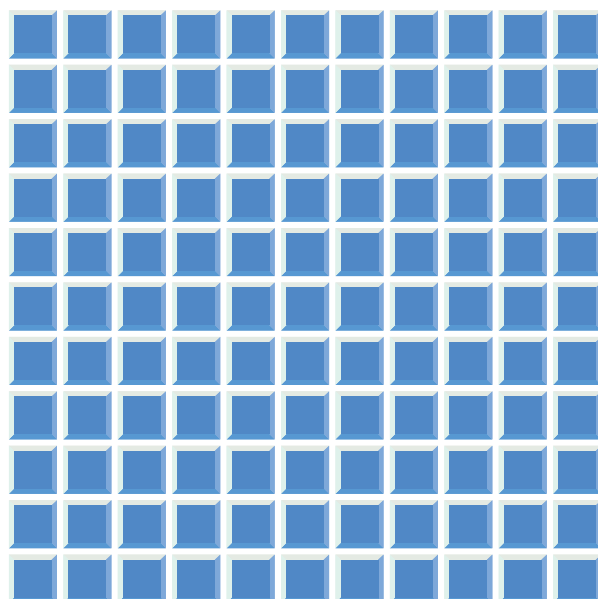


ジェコスデッキ

覆工板

G
E
C
O
S
S



ジェコス株式会社

ジェコスデッキの特徴

1. シンプルな構造で大きな剛性

- ・ H 形鋼が溶接により一体化されているため大きな剛性を有しており、大きな荷重や衝撃に充分耐える構造となっています。
- ・ 道路橋示方書 B 活荷重における T-25 荷重に対応しています。

2. 優れたスリップ防止効果

- ・ H 形鋼の表面は角小突起が付いており、一般路面と同様のスリップ防止効果が期待できます。

3. 不快なノイズを緩和

- ・ 角小突起はタイヤと覆工板とのうねり音を抑えます。
- ・ 受桁との締結と緩衝ゴムの使用により、バタツキによる騒音、衝撃を緩和します。

4. 取扱いが簡単

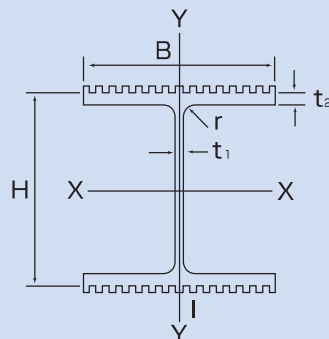
- ・ 落とし込み式は受桁に敷並べるだけの簡単な作業です。
- ・ 締結式の場合でも覆工板上から、ワンタッチで締付け・解除ができ、取扱いがカンタンです。



ジェコスデッキの構造と種類

■ 突起付圧延 H 形鋼

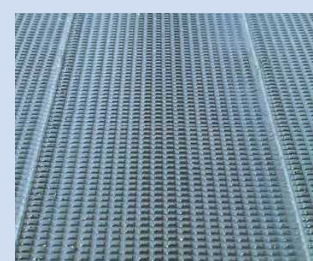
ジェコスデッキの構成主部材はフランジ上面に角小突起がついた H 形鋼です。突起形状が小さく凸形状であるため、すべり止め効果、コーティング材剥離防止効果に優れています。



H	B	t ₁	t ₂	r
190mm	197mm	5.4mm	7.7mm	13mm

A	W	I _x	I _y	i _x
40.64 cm ²	34.3 kg/m	3080 cm ⁴	1060 cm ⁴	8.71 cm

i _y	Z _x	Z _y
5.11 cm	322 cm ³	107.0 cm ³

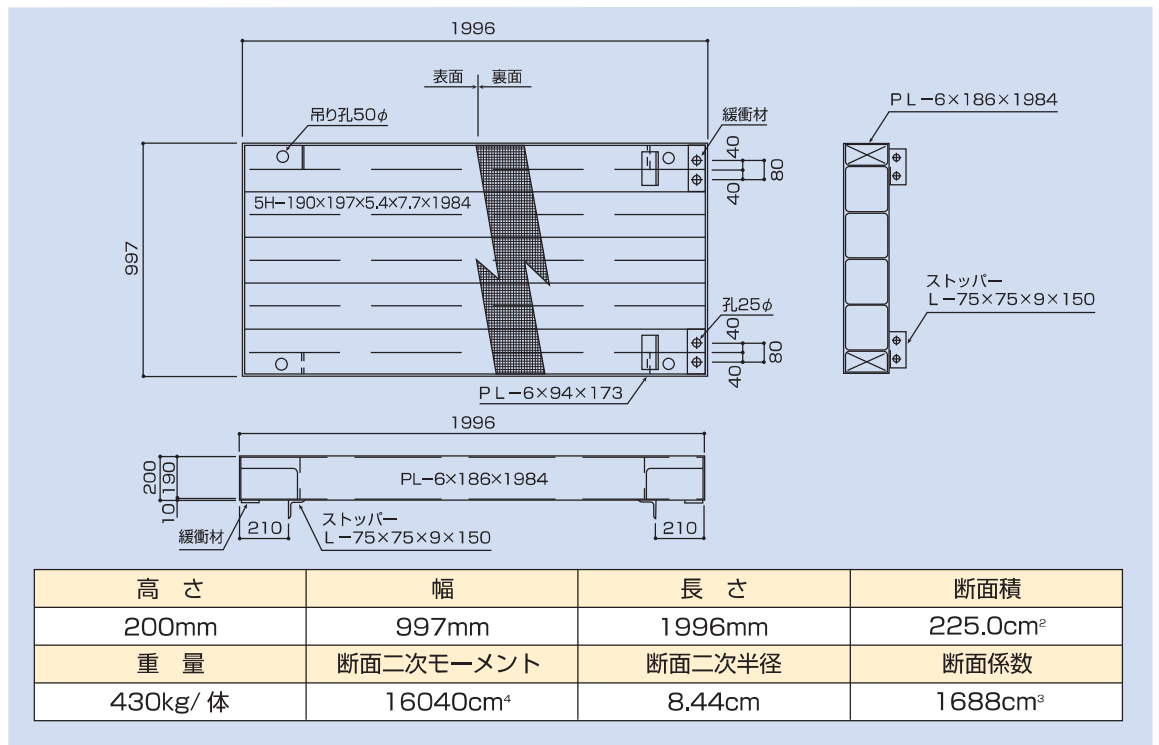


■ ジェコスデッキ (KLD2) 1.0m×2.0m

巾 1.0m、長さ 2.0m タイプの覆工板で、突起付圧延 H 形鋼を 5 本並べ、そのフランジを付合せ溶接し、さらに端部と側面を平鋼にて補強したものです。

一般路面はもとより、建設現場内の栈橋、構台等で幅広く使用されています。

* 巾寸法が多少異なるものもあります。

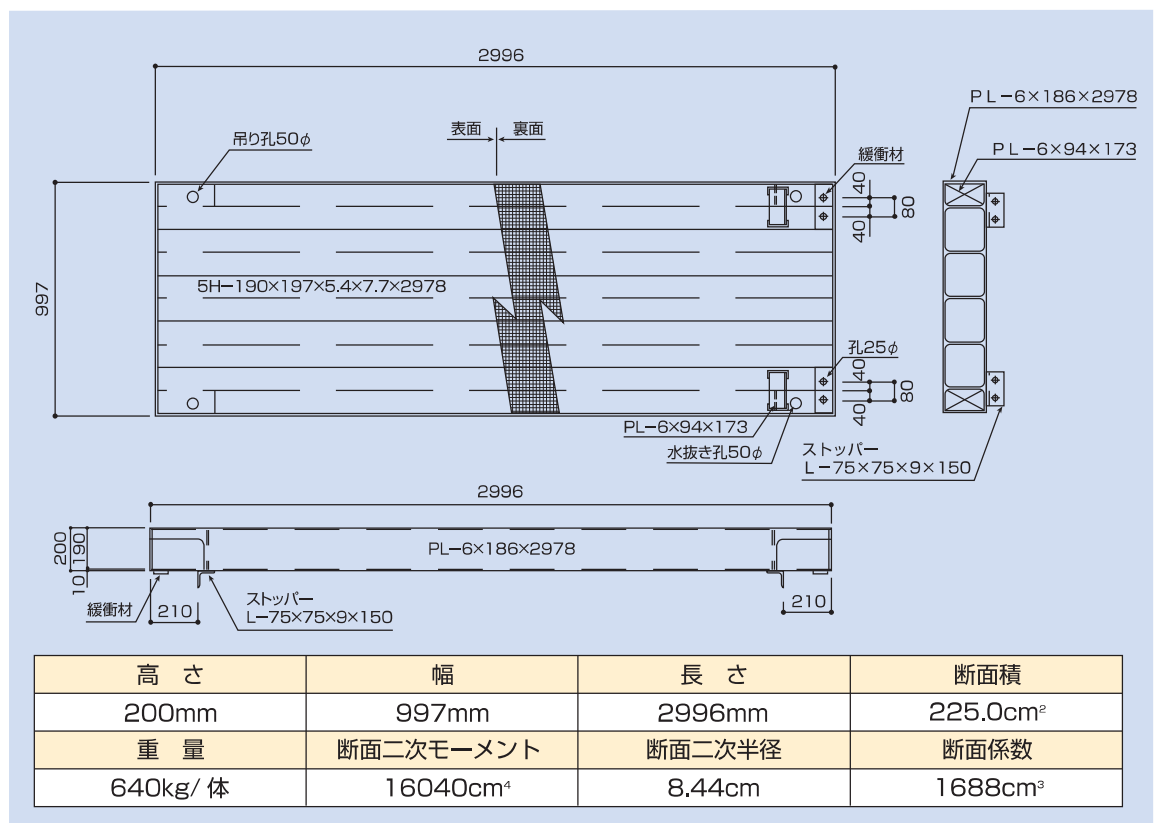


■ ジェコスデッキ (KLD3) 1.0m×3.0m

巾 1.0m、長さ 3.0m タイプの覆工板です。構造は KLD2 と同様です。

覆工受桁のピッチが大きくとれ、作業空間が広くなり、経済的です。

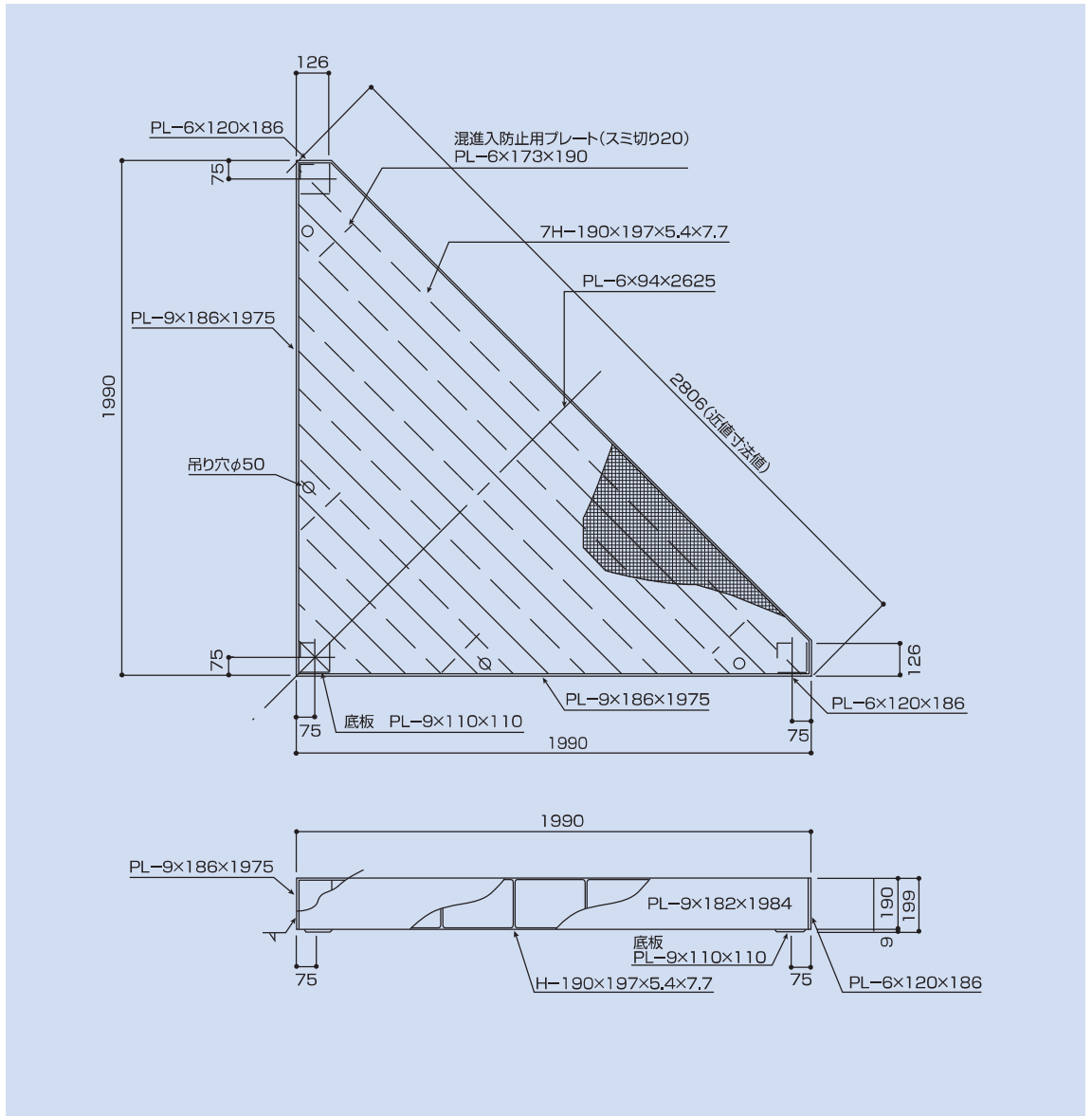
* 巾寸法が多少異なるものもあります。



■ ジェコスハンチデッキ (KLDC)

KLD2、KLD3と同様に突起付圧延 H 形鋼を用いた構造で、2 辺の長さが 2.0m の三角形の覆工板です。栈橋、構台等のコーナー部に使用できます。

* 寸法が多少異なるものもあります。

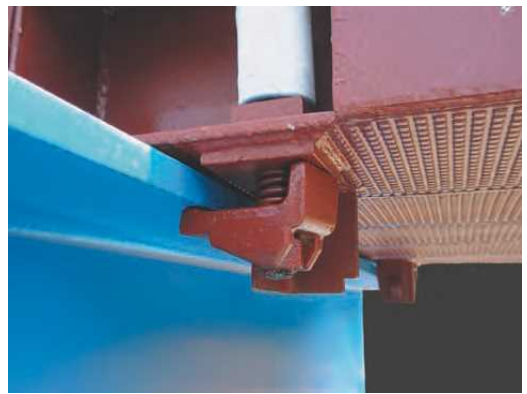


重量
490kg/体



締結式覆工板

締結式覆工板は路面覆工、仮橋、仮栈橋等に設置する覆工板のガタつきを低減させる役割を果たします。当社の締結式覆工板は200万回の繰り返し荷重による疲労試験を実施することで、その信頼性は確認済みです。



■ 特 長

覆工板上からワンタッチ締付・解除

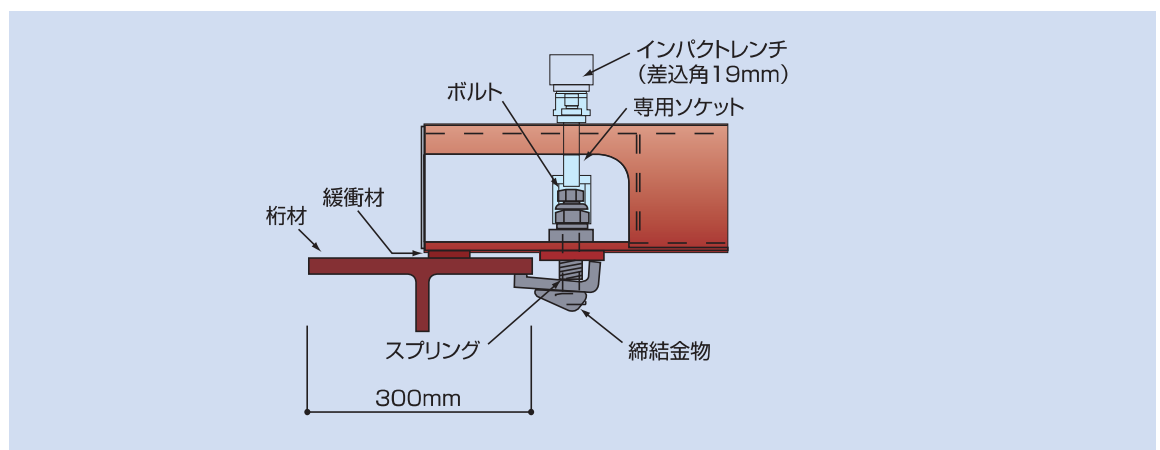
桁材と覆工板の締付・解除作業は、専用ソケットを取付けたインパクトレンチを覆工板の吊孔へ挿入して作業を行います。

桁材フランジ 300 幅シリーズに対応

締結式覆工板は、覆工板、締結式金物、ボルト、ナット、スプリング等で構成されており、標準的に使用される桁材で、フランジ幅 300mm、厚み 19mm~28mm に対応しています。

■ 仕 様

フランジ厚 19mm~28mm



H 鋼サイズ

H-588×300×12×20

H-594×302×14×23

H-700×300×13×24

H-800×300×14×26

H-900×300×16×28

* その他サイズについては、別途ご相談ください。

* 受注生産対応品

ジェスココート

覆工板は、すべり摩擦抵抗と防音効果に対して、優れた特性を有していますが、近年主要道路下の工事の増加と、車両の大型・高速化および交通量の増大は、路面覆工板の表面仕様を厳格化させました。当社はこれに対して、すべり止め効果に優れた“樹脂加工”であるコーティングを採用することにより対応いたしました。



■ 耐スリップ性

ジェスココートに用いる特種骨材の粒度調整により、高い耐スリップ性が得られます。

ジェスココートのすべり抵抗値

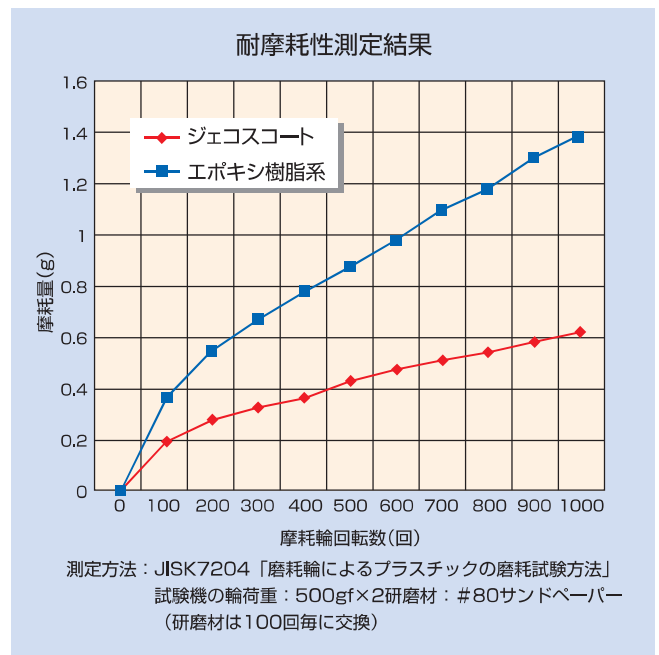
試験体の状態	試験箇所	すべり抵抗値 (BPN)	平均
乾燥状態	1	96 97 96 97 95	96
	2	95 95 96 96 95	95
	3	95 95 96 96 95	95
	平均		95
湿潤状態	1	80 79 79 80 80	80
	2	80 80 79 80 83	80
	3	80 82 82 83 83	82
	平均		81

各種舗装材のすべり抵抗値比較

	湿潤状態	乾燥状態	路面温度(℃)
ジェスココート	81	95	20~25
アスファルト	68	80	22~26
セメントコンクリート	59	76	20~25

■ 耐摩擦性

ジェスココートは耐摩擦性、耐久性が高い特種骨材、それと粘着力が高いビニルエステル樹脂を採用。エポキシ樹脂系舗装材をも上回る優れた耐摩擦性を長期間保持します。



性能確認試験

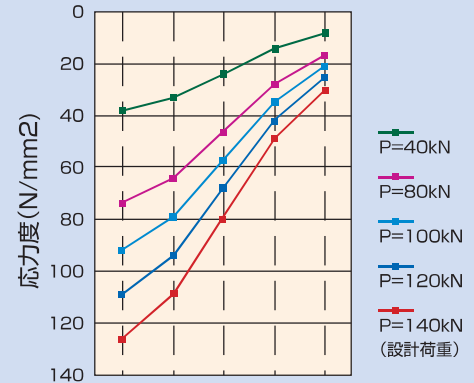
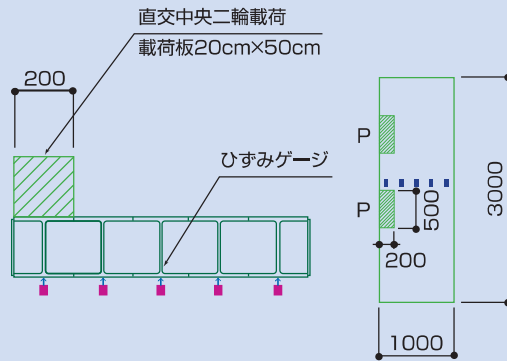
ジェコスデッキのB活荷重 (T-25 荷重) に対する強度及び剛性を確認するため、各種の载荷試験を実施しています。

■ 強度試験

最も荷重条件の厳しい直交偏心二輪载荷においても、端部 H 形鋼の最大応力は許容応力度 (140N/mm^2) 以内であり、通常の使用に対しては十分な強度を有していることを確認しています。



■ 荷重 - 応力度図 (直交偏心二輪载荷)
荷重分担率 载荷状態の簡易図



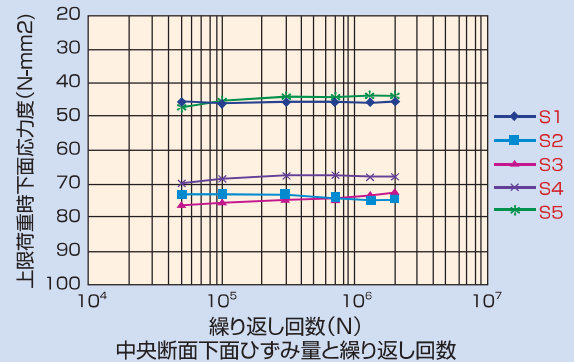
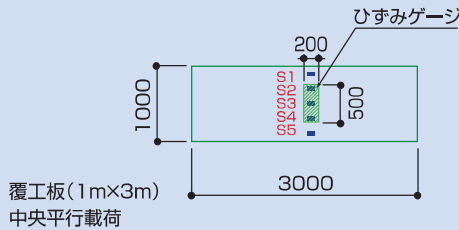
設計応力度	126	109	79	49	30
荷重分担率 (%)	36.3	24.4	17.7	11.0	8.7

■ 疲労試験

交通量の多い過酷な荷重条件下で繰り返し使用されるため、荷重振幅を T 荷重 1 輪あたりの 140kN (衝撃を含む $-5\text{kN} \sim 14.5\text{kN}$)、繰り返し回数を 200 万回として疲労試験を行いました。結果は、本体及び溶接部に損傷はなく、安定した挙動を示しました。



■ 繰り返し回数 - ひずみ図



使用上の注意事項

敷設について

- 敷設は原則として、車両進行方向に対して、縦設として下さい。
- 支承部以外で支持することは避けて下さい。
- 覆工板どうしのすき間、路面とのすりつけ部の段差が無いよう敷設して下さい。
- 覆工板の吊穴は塞ぐようにして下さい。

管理・点検について

- 長期間使用しない場合は、経年劣化による事故防止のため、局部変形・溶接部の亀裂や有害な腐食等が無い事を確認して下さい。
- バタツキがある場合は、引き上げて本体、受け桁を確認して下さい。
- 緩衝ゴム、ストッパーは定期的に点検して下さい。
- 表面の水溜り、凍結により表面がすべり易くなるので注意して下さい。
- 保管時に積み上げる場合は、転倒防止等の対策を施して下さい。

T-25 荷重以上の荷重载荷の場合はその都度、強度確認の検討を行って下さい。
その他、危険を伴う使用は、避けて下さい。